

都留市パブリック・コメント制度 意見募集結果

案件名： 「 第2期都留市地域公共交通総合連携計画（案）について 」

意見提出期間 : 平成27年5月1日～平成27年5月29日
 結果公表日 : 平成27年6月16日
 意見等の提出件数: 提出者 1名、提出件数 3件
 意見等の受付方法: 持参 名、郵便 名、FAX 名、メール 1名
 件 件 件 3件

項目	意見等の内容	件数	市の考え方
2 計画の基本方針と目標 (1) 基本方針 基本方針 2 効率的で利用しやすい環境づくり	<p>文書内に「大学生の利用を呼びかける」旨の記述があったので、大学生目線で1点要望します。</p> <p>文大生の公共交通機関利用は都留文科大学前駅からの富士急行線が中心です。一部の学生は交通費節約のために高速バスを利用していますが、駅からバス停が遠いです。</p> <p>要望としては、都留文科大学～中央道都留バス停（循環バスの最寄バス停）を結ぶバスを、新宿方面の高速バスの時刻に合わせた運行にして頂けると非常に便利です。</p>	3件	<p>都留文科大学駅周辺のバス停から中央道都留バス停ですと、右回りに乗り、道生堀バス停で下車することが想定されません。現在は、買い物・通院・通勤・通学時の利用に合わせたダイヤとなっているため、高速バスへの接続に対するニーズがどの程度あるのかを見極める必要があります。</p> <p>ダイヤの調整を含めた「効率的で利用しやすい環境づくり」につきましては、本計画の基本方針として定めており、できるだけ多くの方の利便性を考慮したダイヤの設定を協議していきたくと考</p>

	<p>予約型乗合タクシーについて、大学生の認知度が低い原因は行き先の魅力の無さと大学生にとっては不便な時刻設定だと考えます。</p> <p>東桂方面の終点を「サンパーク都留グラススキー場」まで延長し、タクシー利用者割引のような制度があれば、施設利用者の増加とタクシー利用者の増加の双方が見込め、一石二鳥になると考えます。それに合わせて、東桂方面の行きの時刻の引き上げと文大方面の帰りの時刻の引き下げも求めます。</p> <p>循環バス及び予約型乗合タクシーを都留文科大学前駅方面に伸ばす場合ですが、都留文科大学音楽棟付近に1つバス停があると非常に便利が良くなると思います。</p> <p>循環バスに高速バス側から乗り文大を目指す際に、一旦駅を経由するのが非常に</p>	<p>えます。(2 計画の基本方針と目標(1)基本方針)</p> <p>予約型乗合タクシーにつきましては、路線バスの首雌・秋山線と砂原線の代替手段として平成24年度に導入しました。従前の路線を活かした路線となっておりますが、利用者の増加を図るため、路線の延長や区域の拡大を予定しております。(6 各施策・事業の内容 施策1.既存路線の見直し)</p> <p>グラススキー場への延伸ですが、施設の利用状況等を勘案したうえで検討する必要があります。(6 各施策・事業の内容 施策3.地域の活性化を目指した公共交通施策の導入)</p> <p>予約型乗合タクシーにつきましては、東桂線を都留文科大学駅方面へ拡大し利用者増加を図ることを検討しております。(6 各施策・事業の内容 施策1.既存路線の見直し)</p> <p>一旦駅を経由することにつきましては、循環バ</p>
--	--	---

	<p>ストレスです。その手前で降りてもらえるバス停が欲しいです。さらに大学生需要を取り込むには以前存在した大学守衛室前のバス停を復活させるのも1つの案としてありだと思いません。</p> <p>循環バスですが、現状で市立病院を境に先まで進めないシステムになっていますが、ホームセンターがある赤坂駅周辺への文大生の需要はあると思います。電車だと220円かかる距離が200円でしかもアパート近くで降りることができるのは大変魅力的です。是非、検討して頂きたいと思いません。</p>	<p>スは駅利用者を考慮していることによるものです。</p> <p>音楽棟付近と守衛前バス停につきましては、通行人が多いことやUターンが必要であることなどを考慮したうえで、大学の事務局と検討させていただきます。</p> <p>赤坂駅周辺へのアクセスにつきましては、現状では芭蕉月待ちの湯を経由する左回りの便に乗る必要があるため、時間がかかってしまうことが現状です。買い物客は通院・通勤・通学者と合わせてメインの利用者と位置付けておりますので、各地域の需要を踏まえたうえで検討してまいります。(2 計画の基本方針と目標(2)4つの目標)</p>
--	--	---